

中国 5 県コロナ対応緊急支援助成（第 2 期）

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人オリーブの家
代表者名	山本 康世
申請事業名 主題	DV 被害者困窮ひとり親家庭シェルター増設
申請事業名 副題	親子で長期滞在可能な保護シェルター
エリア／テーマ	【岡山県】 DV や虐待、生活困窮等による緊急避難のための住居・居場所の確保支援
解決すべき社会課題	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援
申請事業の概要	<p>緊急事情で何も持たずに逃げてこられる利用者が、その日から安全に生活が出来る保護シェルターとして、オリーブの家の事務所から近い周りも静かな一軒家(2LDK 二階建て駐車場 2 台)を購入し、親子 2 組が入れるシェルターとしての住居設備とコロナ対策を整え受入を始める。</p> <p>入所から退所そしてアフターフォローまで、理事と入所者が入る LINE グループで、きめこまかな相談対応をするなど、丁寧なサポートと継続的な支援活動にあたる。</p> <p>また物件購入により資金的な持続可能性を高め、スタッフとボランティアを中心に人的基盤強化を図る。特に、人的基盤(ボランティアスタッフ)については、安定運営できるよう、メンバー拡大と定期的な勉強会を開催する。</p>
事業実施地域	岡山県津山市
申請事業期間	2021 年 7 月～2021 年 12 月
申請助成額	24,530,540 円 【内訳】直接事業費 24,530,540 円、管理的経費 0 円

■ 審査コメント

- ✓ 若い団体だが、ニーズもよく理解できる。欲を言えば自主財源獲得に向けた計画がほしいが、全体的には素晴らしい活動と思う。
- ✓ 県北エリアのシェルターということで必要と思う。県北で DV がこんなにあるとは思わなかった。ニーズが顕在化したことを活かしてほしい。

- ✓ 相談件数を見ると、ボランティアによるかかわりだけだと少し苦しいと思うので、人的基盤強化もぜひ頑張してほしい。
- ✓ 前回、不採択だった際に申し上げた点が、ハード整備中心の印象をもったため、人的スタッフのさらなる充実を求めた。今回は、その点を踏まえて、設計されていた。しっかりした内容になったと思う。理事・ボランティアのスキルアップ勉強会を計画されるなど、ブラッシュアップされている印象を持った。
- ✓ ネットワークも築いて、大事な取り組みをされている。
- ✓ 県北で頑張っており取り組まれていると思う。民間の助成金の獲得も頑張っておられる。
- ✓ 7,900件へのDVや虐待が学習へ及ぼす影響の実態調査(アンケート調査)を予定されている。その調査もぜひ生かして、頑張してほしい。